

STRDESIGN V18.3 レベルアップ項目について

以下2点の計算内容について機能強化対応を行いました。

【計算】

No	項目	詳細
1	短期軸力の算定	軸力算定時に使用する高さを【階高、壁高、横架材天端間高さ】から選択できるようになりました。 (構造計算書 6.1 軸力算定に影響します)
2	短期耐風梁の検討内容 (金物工法)	金物工法の短期耐風梁の検討では、許容せん断耐力 Q_a が梁端金物情報の許容せん断耐力の値で検討していますが、「計算・出力の内容」のフラグ設定で、木材の許容せん断力でも計算できるようにしました。

【計算1. 短期軸力の算定】

軸力算定時に使用する高さを【階高、壁高、横架材天端間高さ】から選択できるようになりました。

「計算条件」タブの「計算・出力の内容」プロパティを表示させます。

「短期軸力算定時の高さ H」フラグで以下を選択します。

①階高、②壁高、③横架材天端間高さ(入力値)を選択し、「更新」を押下し閉じます。

選択それぞれの意味は以下のとおりです。

①階高：現状のままで計算変更なし(軒高間を使用)

②壁高：壁高さで短期軸力を計算します。

計算対象は、すべての筋かい、面材耐力壁 となります。

(壁高さ) = (対象壁の上端 Z 座標) - (下端 Z 座標の値) ※開口がある場合は無視

③横架材天端間高さ：耐力壁(面材耐力壁、筋かい)のプロパティにある項目で、

「横架材天端間高さ(mm)直接指定」の入力値を使用します。

(指定値が設定してある耐力壁のみ対象、指定値が0の場合は、階高を使用します。)

